

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

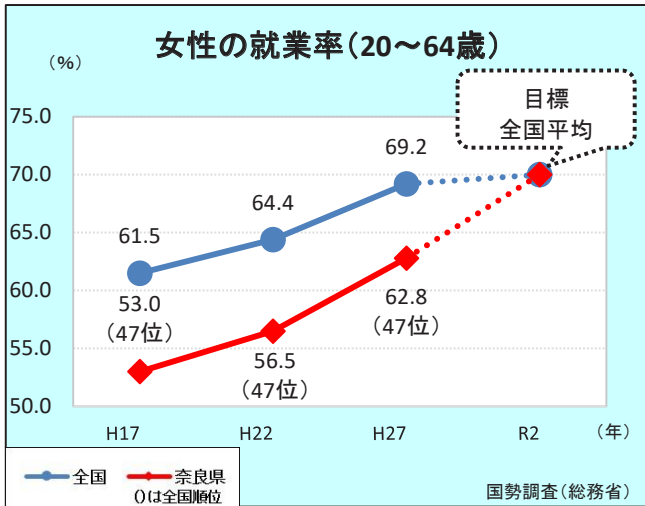
結婚・子育ての支援、児童虐待防止、女性の活躍の促進

目指す姿

令和2(2020)年度中に、女性の就業率(20～64歳)の全国平均を目指します。

主担当部局(長)名
こども・女性局長 橋本 安弘

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

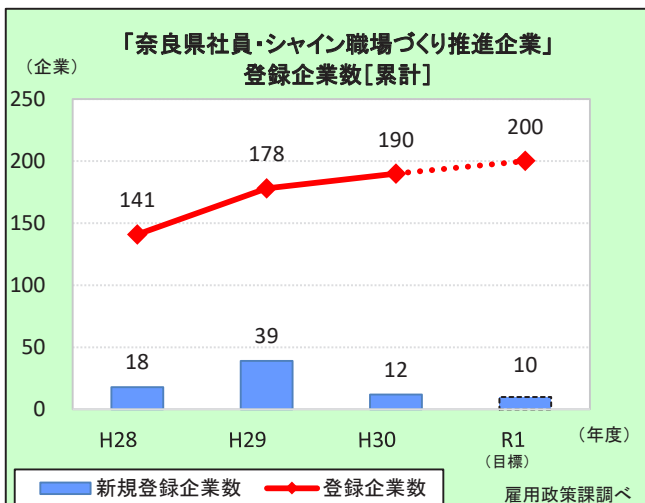


女性の就業率(20～64歳)(%)					
指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
指標	53.0	↑	62.8	H27 全国平均 (69.2) を下回っています	R2の 全国平均
	H17 (2005)	9.8 ポイント	H27 (2015)		
進捗状況	女性の就業率(20歳～64歳)は依然として全国最下位ですが、平成22年から平成27年の5年間の伸びは6.3ポイントと全国1位で、全国との差が縮まっています。また、目標達成に向けて平成30年度は「なら女性活躍推進倶楽部」会員企業と連携したイベントの開催や女性の起業支援等に取り組みました。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 女性の活躍の場を広げ、女性のスキル・能力の向上を支援し、様々な場における女性の活躍を実現します。

主担当課(長)名
女性活躍推進課長 戸毛 由樹子



「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」登録企業数[累計](企業)					
指標	基準値		実績値	進捗率	目標値
指標	141	↑	190	83.1%	200
	H28 (2016)	49 企業	H30 (2018)	2 3 年目	R1 (2019)
進捗状況	奈良労働局、奈良県社会保険労務士会と連携して、未登録の県内企業を訪問し、登録促進を実施するなど、「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」の普及活動に努めたことにより、平成30年度の登録企業数が累計190企業となり、平成29年度から12企業増加しました。				

主な成果

県内企業における女性活躍の機運醸成のため、「なら女性活躍推進倶楽部」会員企業向けに女性活躍に関するセミナー・交流会を開催しました。また、女性の就業を支援するため、会員企業と連携し、再就職希望女性や女子大学生と倶楽部会員企業が交流できるイベントを開催しました。

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

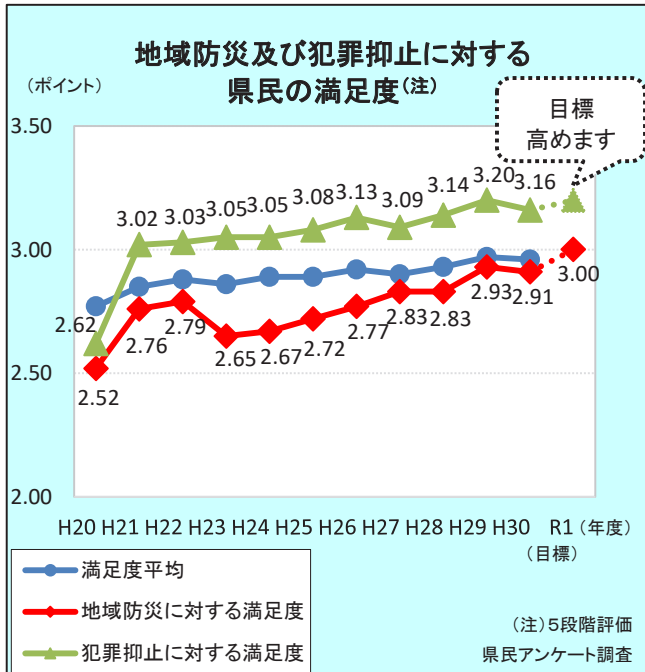
地域防災力・消防救急体制の充実と犯罪・交通事故抑止対策の推進

目指す姿

令和元(2019)年度までに、県民アンケート調査における「地震、台風、火災などへの対策がしっかりしていること」への県民の満足度を3.00ポイントにします。また、「住民が被害に遭うことなく、その不安も感じることなく暮らせること」への県民の満足度を高めます。

主担当部局(長)名
危機管理監 杉中 泰則
警察本部長 遠藤 雅人

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



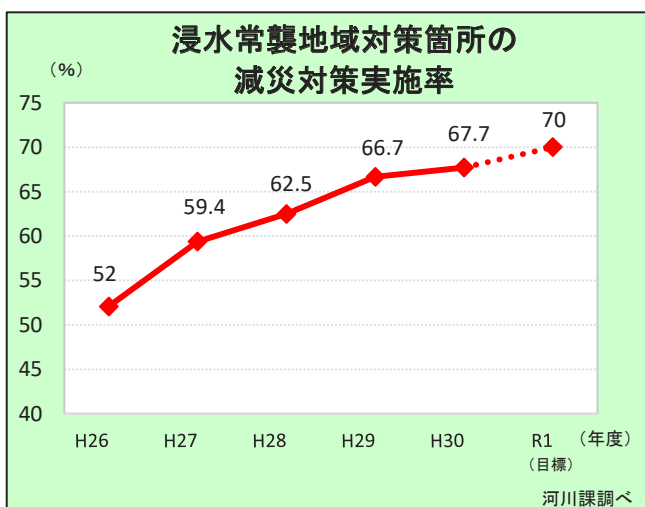
地域防災及び犯罪抑止に対する県民の満足度						
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値	
指標	地域防災	2.52	↑	2.91	81.3%	3.00
		H20 (2008)	0.39	H30 (2018)	10/11 年目	R1 (2019)
進捗状況	犯罪抑止	2.62	↑	3.16	基準値を上回っています	高めます
		H20 (2008)	0.54	H30 (2018)		

平成30年度の地域防災に対する県民の満足度は、浸水常襲地域の減災対策や県有建築物の耐震化、防災訓練等を実施したことにより、平成20年度から0.39ポイント増加し、進捗率は81.3%となりました。また、犯罪抑止に対する県民の満足度は、防犯カメラの設置や金融機関、コンビニエンスストアに対する声かけ訓練等を実施したことにより、平成20年度と比べて0.54ポイント増加し、基準値を上回っています。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 土砂災害区域の調査や建築物の耐震化等の減災対策を推進します。

主担当課(長)名
河川課長 岡部 共成



浸水常襲地域対策箇所の減災対策実施率(%)					
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
指標	52	↑	67.7	87.2%	70
	H26 (2014)	15.7	H30 (2018)	4/5 年目	R1 (2019)
進捗状況	浸水常襲地域における減災対策緊急プログラムに基づき、平成20年度から減災対策河川に重点投資を行っており、平成30年度は新たに1カ所で対策を行ったため、浸水常襲地域対策箇所の減災対策実施率は67.7%となり、目標に向かって順調に進捗しています。				

主な成果

浸水常襲地域(96カ所)の減災対策河川に対して、重点投資によるハード対策を進めており、平成30年度は、天理市庵治町地内で調整池整備を行いました。

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

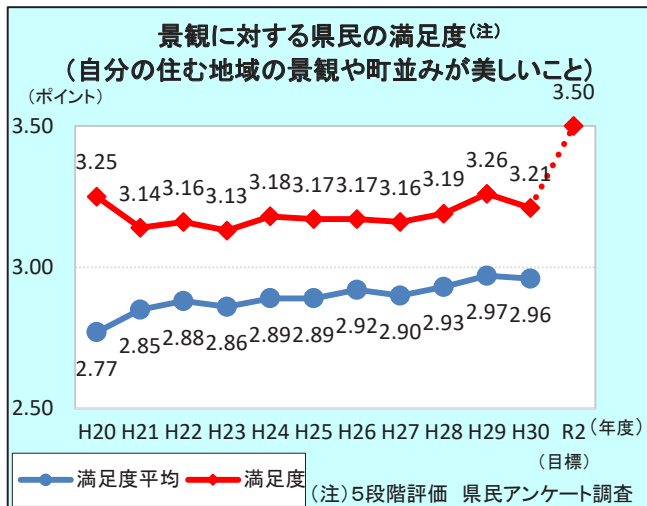
愛着と誇りの持てる「きれいな奈良県」の実現

目指す姿

令和2(2020)年度までに、県民アンケート調査における景観に対する県民の満足度(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)を3.50ポイントにします。

主担当部局(長)名
景観・環境局長 梶田 斉志

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



指標	景観に対する県民の満足度(自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)(ポイント)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	3.25		3.21	▲16.0%	3.50
進捗状況	H20(2008)	0.04ポイント	H30(2018)	10/12年目	R2(2020)
	奈良県植栽計画に基づく「なら四季彩の庭」づくりの推進、建築物・屋外広告物等の規制誘導、大和川の水質改善等により、良好な景観を守り、創り、育て、活用する取組を進め、県民アンケート調査では、景観に対する県民の満足度は3.21ポイントで、全項目の満足度平均と比べて高い状態を維持していますが、平成20年度の基準値から0.04ポイント減少しました。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 生活排水対策をはじめ、3Rや省エネ・節電等の取組を促進し、環境負荷を低減します。

主担当課(長)名
環境政策課長 西井 保喜



指標	大和川の環境基準達成率(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	85.7		100	100.0%	100
進捗状況	H26(2014)	14.3ポイント	H30(2018)	4/6年目	R2(2020)
	下水道整備及び合併処理浄化槽設置の促進、官民連携による大和川一斉清掃等の取組により、大和川の環境基準達成率は、平成30年度に100%となり、目標を達成しました。				

主な成果

水質改善が遅れている大和川の支川のうち、高田川・土庫川・葛城川を対象に、「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」のもとに、県、流域市町、地元団体等による実践部会を設置し、水質改善や水辺空間づくりの実践計画を策定・推進しました。

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

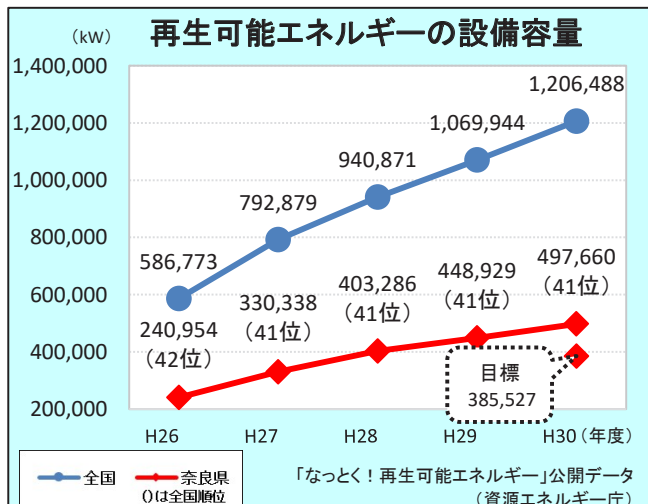
分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給

目指す姿

平成30(2018)年度の再生可能エネルギーの設備容量を平成26(2014)年度比の1.6倍(385,527kW)にします。

主担当部局(長)名
地域振興部長 山下 保典

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



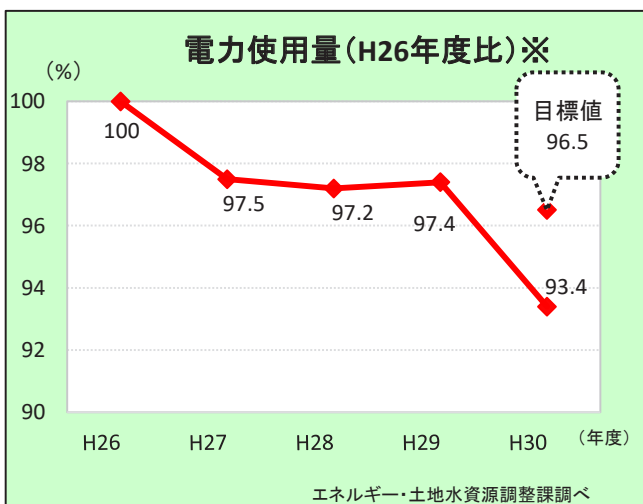
再生可能エネルギー設備容量(kW)				
指標	基準値	実績値	進捗率	目標値
	240,954	497,660	177.6%	385,527
進捗状況	H26 (2014)	H30 (2018)	4年目	H30 (2018)

再生可能エネルギー導入にかかるアドバイザー派遣や設備整備に対する支援及び国のFIT(再生可能エネルギー固定価格買取)制度等の活用により、平成30年度の再生可能エネルギーの設備容量は497,660kW(平成26年度比2.07倍)となり、目標を達成しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略	多様なエネルギーの利活用を図るとともに、奈良の省エネ・節電スタイルを推進します。
----	--

主担当課(長)名	エネルギー・土地水資源調整課長 池田 昌義
----------	--------------------------



※は数値が低い方が良くなる指標です。

電力使用量※ (%)				
指標	基準値	実績値	進捗率	目標値
	100	93.4	188.6%	96.5
進捗状況	H26 (2014)	H30 (2018)	4年目	H30 (2018)

省エネ・節電に対する県民等の理解促進や、事業所が行う省エネ対策への支援に取り組んだ結果、平成30年度の実績値は、基準値から6.6ポイント改善し、第2次奈良県エネルギービジョン(平成28年度～平成30年度)の目標を達成しました。

主な成果

- 再生可能エネルギー導入にかかるアドバイザー派遣により、平成30年度は山添村的野地区において、地域の資源である小水力を活用するため、住民の手によって小水力発電のための木製水車が製作されました。
- 夏季は「軽装で過ごす」、冬季は「ウォームシェア」等、省エネ・節電行動についての呼びかけを行うとともに、省エネにつながる取組募集「かしこいエネルギーの使い方」において、優秀な取組をホームページや広報誌にて広く周知し、「奈良県の省エネ・節電スタイル」を推進しました。